

改善計画書

施設名 ヴィラ四日市

(担当者 藤田 由美)

(作成年月日 平成 29年 5月 15日作成)

(施設として続けるに優れている点)	1	サービスの向上に対しての意識は高く、ユニット型はもちろん従来型特養でのユニット化にも取り組んでいる。今後もサービスの向上に関しては力をいれ取り組んでいく。						
	2	EPA介護福祉士候補生の受け入れを行っており、順調に育成している。職員の研修も積極的に行っており職員の育成にも前向きである。						
	3	地域の関係機関とも連携がとれており、法人全体で2箇所の在介を持っていることから地域との交流もあり、地域からの相談で困難ケースを施設で受け入れた実績もある。						
	4							
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐできること	1	法人・施設の理念・基本方針を利用者、家族に浸透させる	理念・基本方針が浸透する(利用者・家族)	1年	平成29年4月	平成30年3月	ポスターでの掲示・文書での啓発・来園時口頭で家族に説明	藤田 由美
	2	理念・基本方針をどのくらい職員が理解しているかが不明。理念・基本方針の理解・浸透が必要である。	職員が理念・基本方針を理解し、それに沿った支援をすることができる。	1年	平成29年4月	平成30年3月	勉強会で理念・基本方針の理解を深め、復命書等で理解度を確認する。また支援に生かしているかを評価する。	福井 英広
	3	事業計画の周知積極的に取り組む	事業計画が職員全員に周知され、その年の目標に職員全員で取り組むことができる。	3ヶ月	平成29年4月	平成29年6月	職員集会で周知、事業計画を回覧し全員への周知を図る。	藤田 由美
	4							
	5							
工夫すればできること	1	職員の向上心を高め、明確な目標設定ができるようになる。	キャリアパスを利用し、到達点を作ることで段階ごとに職員のステップアップが明確になるよう工夫し職員のモチベーションをあげることで、向上心を高める。	1年	平成29年5月	平成30年4月	キャリアパスに準じ、各職種の到達点を段階ごとに(経年年数等ごとに)作成し、職員が個別に目標をたて、その目標を達成出来るよう取り組む。	藤田 由美
	2							
	3							
	4							
	5							
予算化しないといけないこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							